

第4章 地域の状況と日常生活圏域

第4章 地域の状況と日常生活圏域

介護や支援が必要な高齢者は、住みなれた地域で暮らしたいと願っていても、現実には多くの高齢者が施設への入所を選択しています。その理由は、地域には365日24時間の安心を得るためのサービスがなく、地域生活の継続のためには家族などの負担が大きくなってしまふことが指摘されています。

特に認知症の高齢者は、環境の変化に対応することが困難にも関わらず、自宅から離れた施設への入所により、生活の場所やケアに関わる人が変化し、状態が悪化することがあります。

これらの現状を踏まえ、第3期計画では、高齢者（特に認知症高齢者）が住みなれた地域で生活を継続できるように、地域に密着したサービス基盤の整備を計画的に行うため、市の区域を分割し「日常生活圏域」を設定します。

1. 地域の状況

地区別の高齢者の状況は表1のとおりです。松が丘地区や庄地区など住宅団地が造成された地区については、あまり高齢化は進んでいませんが、大聖寺地区、片山津地区などの既成市街地や旧山中町の山間部では、若年人口の流出がみられ高齢化が進行しています。

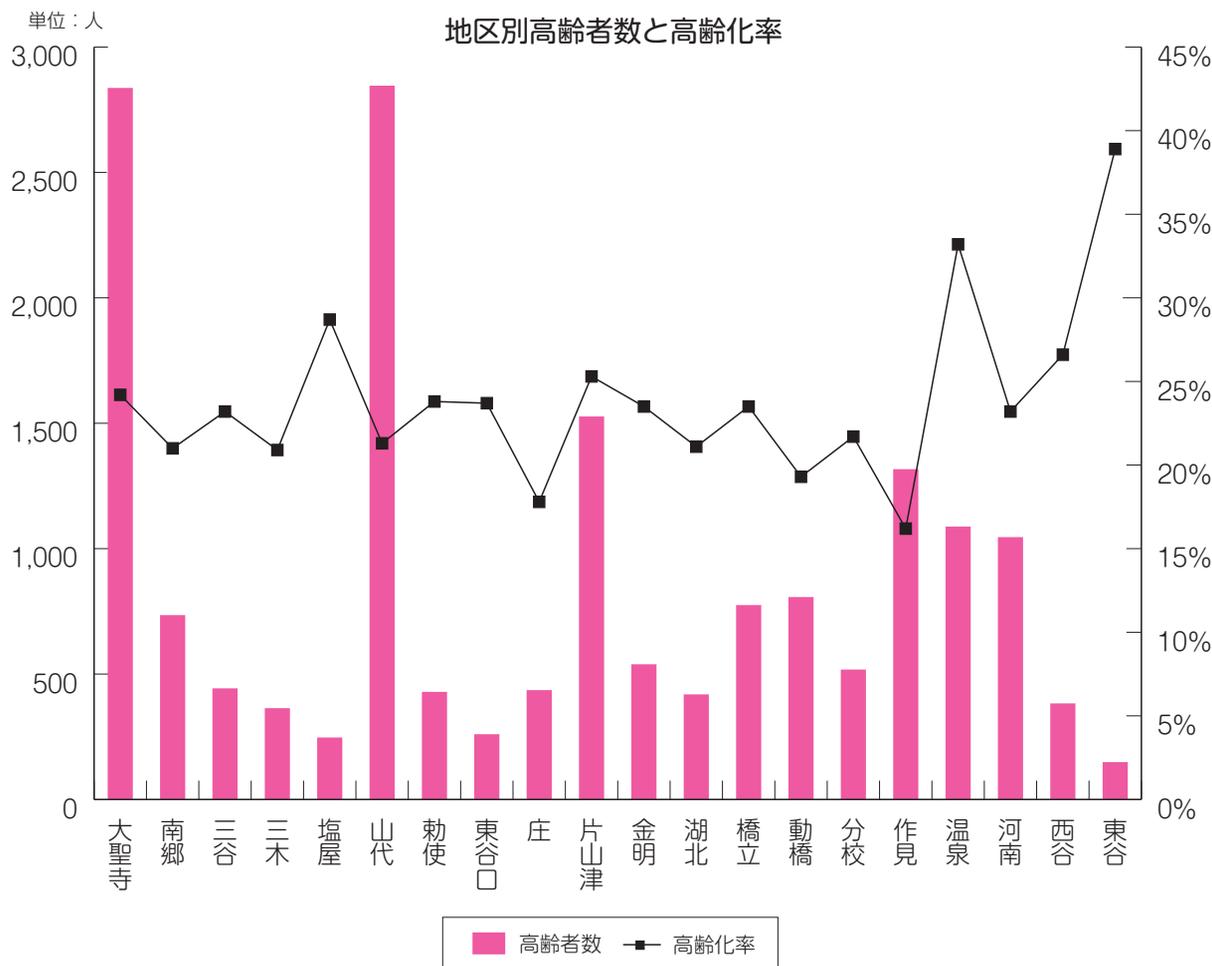
旧加賀市、旧山中町の合併協議会において策定された新『加賀市』まちづくり計画においては、新加賀市に7つの地域拠点「大聖寺/山代/片山津/動橋/作見/橋立/山中」を位置づけ、周辺地区の都市機能を補完し、地域全体の快適な生活環境が確保できるように基盤整備を推進することとなっています。

(表1) 地区別高齢者数と高齢化率

(単位：人)

地区	高齢者数	高齢化率	地区	高齢者数	高齢化率	地区	高齢者数	高齢化率
大聖寺	2,837	24.2%	東谷口	260	23.7%	分校	518	21.7%
南郷	735	21.0%	庄	436	17.8%	作見	1,317	16.2%
三谷	443	23.2%	片山津	1,527	25.3%	温泉	1,088	33.2%
三木	364	20.9%	金明	539	23.5%	河南	1,046	23.2%
塩屋	247	28.7%	湖北	419	21.1%	西谷	383	26.6%
山代	2,846	21.3%	橋立	775	23.5%	東谷	149	38.9%
勅使	429	23.8%	動橋	807	19.3%	全市	17,165	22.5%

※施設入所者を除いた各地区別高齢者数（平成17年10月現在）



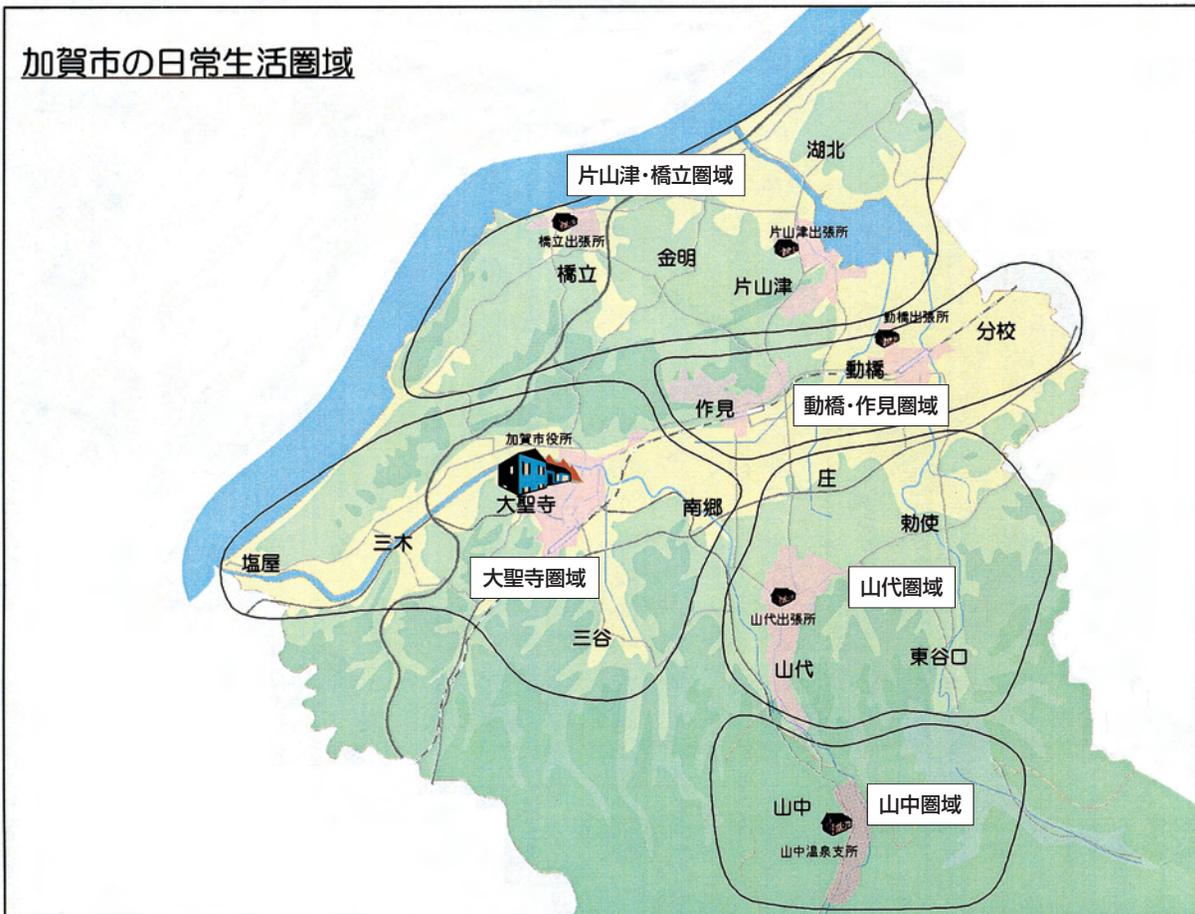
2. 日常生活圏域の設定

加賀市の日常生活圏域は、次の考え方において設定します。

- ・新『加賀市』まちづくり計画における7地域拠点と整合性をとる。
- ・市町村合併前の旧山中町区域については、1圏域とする。
- ・市町村合併前の旧加賀市区域については、次の方針による。
 - ①まちづくり推進協議会16地区単位（地区を町単位では分割しない。）とする。
 - ②中学校区をベースとして地区あたり高齢者数を考慮する。
 - ③地区民生委員・児童委員連絡協議会との連携を考慮する。

以上の考え方において、加賀市の日常生活圏域は、次の5圏域とします。

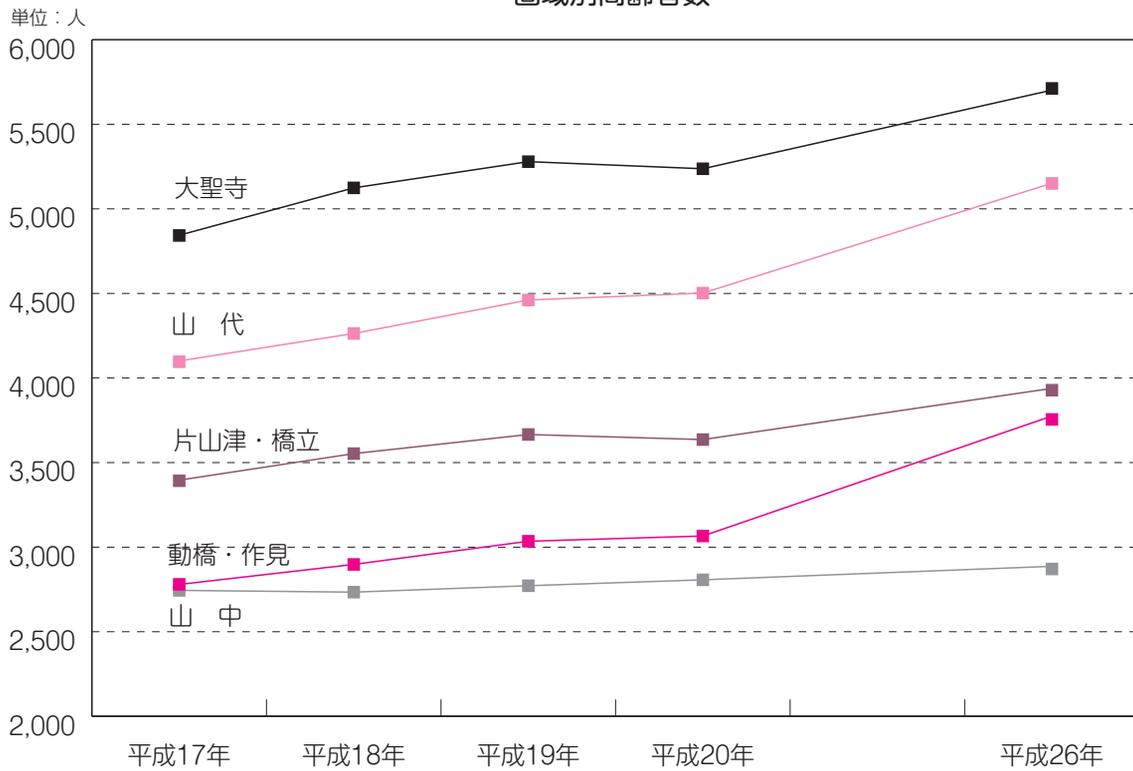
- ①大聖寺圏域：大聖寺地区・南郷地区・三谷地区・塩屋地区
- ②山代圏域：山代地区・勅使地区・東谷口地区・庄地区
- ③片山津・橋立圏域：片山津地区・金明地区・湖北地区・橋立地区
- ④動橋・作見圏域：動橋地区・分校地区・作見地区
- ⑤山中圏域：旧山中町地区



(圏域別高齢者数の推計)

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年		平成 26 年
大 聖 寺	4,832 人	5,124 人	5,279 人	5,237 人		5,712 人
高齡化率	24.5 %	26.0 %	27.3 %	27.1 %		31.9 %
山 代	4,087 人	4,263 人	4,461 人	4,502 人		5,150 人
高齡化率	21.9 %	23.0 %	24.3 %	24.4 %		28.5 %
片山津・橋立	3,393 人	3,553 人	3,666 人	3,636 人	»	3,928 人
高齡化率	24.9 %	26.2 %	27.6 %	27.6 %		33.0 %
動 橋・作 見	2,769 人	2,898 人	3,035 人	3,066 人		3,755 人
高齡化率	18.8 %	20.0 %	21.1 %	21.2 %		26.1 %
山 中	2,750 人	2,734 人	2,772 人	2,807 人		2,871 人
高齡化率	28.2 %	28.8 %	29.6 %	30.3 %		36.2 %

圏域別高齢者数



圏域別高齢化率

